



## 平成29年度「さわやか」活動報告

項目	29年度	八幡	小倉
登録ボランティア数	36名	14名	22名
登録車両数 (うち軽自動車数)	33台 (16台)	13台 (5台)	20台 (11台)
登録利用者数	38名	25名	13名
送迎回数	2564回	1164回	1400回

(八幡・小倉事業所合算 平成30年3月31日現在)

続いて、山田理事長が「『さわやか』は平成八年、当時の北九州市腎友会が設立した障害者小規模共同作業所です。当時の全国腎臓病患者連絡協議会の加盟団体の中で最初に設立した患者会が作った事業所です。今年で二十二目になります。

初めに、司会の岡副理事長が開会宣言を行い、資格審査委員に貞谷事務局員が選任されました。活動されているボランティアの皆様へ感謝

六月三日(日)午前十時五十分から北九州市総合保健福祉センターアスタ121(小倉北区)の六階会議室で、第十五回特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」の定期総会が開催されました。

### 第15回 特定非営利活動法人 通院介護センター「さわやか」定期総会開催

### 新役員紹介

- 理事長 山田 浩美 (かわい泌尿器科クリニック)  
 常務理事 (兼) 梶原 待子 (門司港腎クリニック)  
 副理事長 岡 俊一 (かわい泌尿器科クリニック)  
 理事 加峯 東樹 (ひがしだクリニック)  
 理事 若原 清彦 (折尾クリニック)  
 理事 高原 由美 (今村クリニック)  
 監事 小田 睦美 (リウマチ友の会)

「さわやか」の事業内容は北九州市はもちろん、国土交通省が管轄する福岡運輸支局にすべて報告することになっております。無事故で終えたという事を報告できることは本当に良かったと思っています。この思いはタクシー会社やバス会社、運送を生業する会社、事業所も同じ思いだと思います。実際に活動されているボランティアの皆様へ感謝申し上げます」と挨拶しました。次に、貞谷資格審査委員より午前十時三十分現在、総正会員数二十七名、出席



通院介護センター「さわやか」定期総会の様子

二十三名、(うち書面表決者七名)欠席者四名で定款の条項に基づきこの総会は成立する旨、報告がありました。続いて、議長に福岡県腎臓病患者連絡協議会の森満義彦会長が選任され、挨拶があり、議事録署名人に山田理事長と梶原常務理事が選任されました。その後、議案審議に入りました。

第一号議案の平成二十九年度活動報告・第二号議案の平成二十九年度収支決算報告・第三号議案の平成二十九年度活動報告の報告がありました。また、第四号議案の平成三十年活動方針(案)・第五号議案の平成三十年事業計画及び収支予算(案)を提案し議案は全て満場一致をもって承認されました。第六号議案はNPO法改正に伴う定款の一部変更(案)が高原理事より提案しました。高原理事は「平成二十八年六月一日付の特定非営利活動促進法(NPO法)が改正されたことに伴い、NPO法人は『貸借対照表の公告』を行うことが義務付けられます。施行日は平成三十年十月一日です。定款に『貸借対照表の公告方法』を明記する必要があるので、総会にて定款変更の議決を行わないといけないので定款の変更として第五十一条に貸借対照表の公告についてはこの法人の主たる事務所の掲示場に掲示して行うと追記します」と提案し満場一致をもって承認されました。

第七号議案は今年二年一度の役員改選の年であり、新役員の紹介と、互選にて理事長一名と副理事長一名が選出されました。(左上参照)

報告・第三号議案の平成二十九年度会計監査の報告がありました。また、第四号議案の平成三十年活動方針(案)・第五号議案の平成三十年事業計画及び収支予算(案)を提案し議案は全て満場一致をもって承認されました。第六号議案はNPO法改正に伴う定款の一部変更(案)が高原理事より提案しました。高原理事は「平成二十八年六月一日付の特定非営利活動促進法(NPO法)が改正されたことに伴い、NPO法人は『貸借対照表の公告』を行うことが義務付けられます。施行日は平成三十年十月一日です。定款に『貸借対照表の公告方法』を明記する必要があるので、総会にて定款変更の議決を行わないといけないので定款の変更として第五十一条に貸借対照表の公告についてはこの法人の主たる事務所の掲示場に掲示して行うと追記します」と提案し満場一致をもって承認されました。

第七号議案は今年二年一度の役員改選の年であり、新役員の紹介と、互選にて理事長一名と副理事長一名が選出されました。(左上参照)

第八号議案では平成三十二年福祉有償運送運転協力者研修について山田理事長より説明がありました。各病院の腎友会の会員の方に声をかけてほしい

山田理事長は「『さわやか』も二十二年がたち、ボランティアさんも高齢化して動けるボランティアさんが少なくなっています。この中で協力いただける方がいらつしやいましたら是非、手を上げていただきたいと思っています。なお、各病院の腎友会の会員の方にお声掛けをしていただいで、動ける方やボランティアにお持ちの方がおられましたら『さわやか』まで連絡をいただきたいと思

第七号議案と第八号議案は満場一致をもって承認されました。森満議長の解任の挨拶があり、岡副理事長が閉会を告げ、午前十一時四十五分に閉会しました。



第七号議案と第八号議案は満場一致をもって承認されました。森満議長の解任の挨拶があり、岡副理事長が閉会を告げ、午前十一時四十五分に閉会しました。

### 第21回 北九州市障害福祉団体連絡協議会 定期総会開催

六月二日(土)十時から、ウエルとばた六階六A・B会議室で北九州市障害福祉団体連絡協議会(以下障団連)の第二十一回定期総会が行われました。「さわやか」から山田・高原・貞谷が参加しました。

初めに、障団連の中島和子事務局次長から開会宣言がありました。体制を一新して

スタートを切る

続いて、障団連の北原守会長から「今年は、障団連ができて二十年目になり、新しいスタートが迎えられたと思っています。」

共生社会の実現とは、主体性を持つことが、障害当事者団体の役目であり、使命だと思っています。

また、共生社会を作っていくことを大きな目標として、今後新しいスローガンを皆で考え、これからも頑張つて活動を続けていこうと思っています。

そして、障団連としても総会を機に体制を一新して、スタートをしたいと思つて



北九州市障害福祉団体連絡協議会 北原 守会長

### 北九州市長をはじめ、北九州市議会、北九州市社会福祉協議会、柏木修会長が来られていました。」と挨拶がありました。

次に、来賓として北橋健治北九州市長をはじめ、北九州市議会の木下幸子副議長、北九州市社会福祉協議会の柏木修会長が来られていました。

北橋市長は「障団連は今年で二十周年を迎えますが皆様と一緒に歩んでいく

この間、障害福祉の発展のため、また市民への普及や啓発のために力強いご活躍をいただいております。

### 会員の皆様の声に寄り添いながら活動をしていく

議長に、福岡県難病団体連絡協議会北九州市支部の岡俊一氏が選任され、承認されました。

議事録署名人に、老いを支える北九州家族の会の久保哲夫氏とNPO法人列島の伯井裕氏が選任され、承認されました。

障団連事務局より、加盟団体数四十一団体、出席団体数二十八団体、委任団体数十一団体でこの総会は成立するとの、報告がありました。



北橋 健治 北九州市長

私どもの行政や障害福祉に対して皆様には日頃から大変お世話になっております。これからも行政は、皆様とご一緒に歩んでまいりますので、北原会長をはじめ、

その後、審議に入り、平成二十九年事業報告及び決算報告、会計監査報告がありました。

### 活動をしていく

次に、平成三十年事業計画及び収支予算(案)、役員改選が提案され、満場一致をもって承認されました。

最後に、新三役の紹介がありました。

### 女性軍でスタート

新会長にNPO法人北九州自立生活センター代表の

各団体のご活躍をお祈りいたしております」と挨拶がありました。

次に、木下副議長は「障団連におかれましては、議会との連携を深めながら、障害のある方々が地域の中で安心して生活ができるような共生社会の実現を目指して、研修会や啓発活動の実施など、幅広く活動をされておられます。」

また、障害のある方の社会参加や障害福祉の充実に向けたご尽力に対しまして、深く敬意を表したいと思つています」と挨拶がありました。

また、顧問として前会長の障害者の国際交流を支援する会の北原守氏が就任されました。



北九州市障害福祉団体連絡協議会 林 芳江新会長

林芳江氏、副会長として北九州市自閉症協会の事務局長の伊野和子氏と「さわやか」の山田理事長が就任しました。

事務局長には、会長の推薦により(公社)北九州市障害福祉ボランティア協会の常務理事の古賀由美子氏が就任されました。



また、顧問として前会長の障害者の国際交流を支援する会の北原守氏が就任されました。

林会長は「会員の皆様の声に寄り添いながら活動をしていきたいので、皆様のお力添えをよろしくお願ひします」と挨拶がありました。

### 障団連の発展に向けて

山田副会長は「これからも共生社会の実現や新しい障団連の発展に向けて皆様と一緒に頑張っていきたいと思ひます」と挨拶がありました。

伊野副会長は「いろいろなことを学びながら、副会長として会長を支えていきたいと思ひます」と挨拶がありました。

総会は十二時三十分閉会しました。